



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

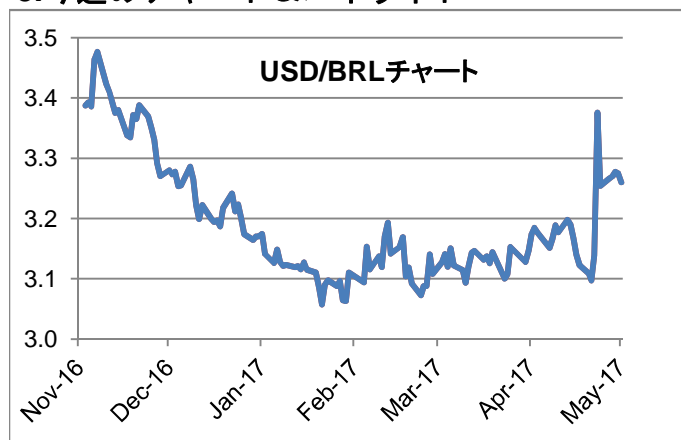
			5月22日	5月23日	5月24日	5月25日	5月26日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2670	3.2700	3.2780	3.2750	3.2600	-0.0150
	BRL/JPY	Spot	34.07	34.18	34.02	34.14	34.15	+0.01
	EUR/USD	Spot	1.1241	1.1183	1.1219	1.1208	1.1183	-0.0025
	USD/JPY	Spot	111.27	111.78	111.51	111.80	111.33	-0.47
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.91	9.79	9.79	9.71	9.43	-0.2839
	Future	1Year(p.a.)	9.79	9.57	9.50	9.43	9.22	-0.2108
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.131	2.250	2.147	2.124	2.094	-0.030
	USD	1Year(p.a.)	2.306	2.390	2.339	2.323	2.350	+0.027
株式	Bovespa指数		61,673.49	62,662.48	63,257.36	63,226.79	64,085.41	+858.62
CDS	CDS Brazil 5y		249.13	242.56	236.73	240.85	238.67	-2.18
商品	CRB指数		186.073	185.056	183.918	181.153	182.00	+0.852

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは週初に3.31台まで下落するも週間ではほぼ横ばいの動き。
- 週初のレアルは3.2680で寄り付いた。テメル大統領による不正隠蔽関与の疑惑を受けて週末に全国規模のデモが行われたが、疑惑の元となる録音テープが編集されていた可能性が報じられたことで参加中止が相次ぎ、小規模なものに留まった。然しながら政治の混乱を嫌気したレアル売り圧力は継続。伯中銀によるドル売り介入がレアルを買い支えたものの安値3.3170まで下落した。その後は伯中銀の介入に加えて原油価格の上昇もあり底堅く推移。S&Pによるブラジル国債のクレジットウォッチ指定にも関わらず高値3.2500まで上昇した。週後半にはブラジリアでの反政府デモ暴徒化や原油価格の急落を背景に3.29台後半まで下落したものの、週末にかけて買戻しが進行。結局3.2600で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.50%、2018年が2.50%で各々据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.93%から3.92%へ、2018年は4.36%から4.34%へともに小幅下方修正。為替レートは2017年末が3.25から3.23へレアル高方向に修正される一方、2018年末は3.36で据え置かれた。
- 22日、S&Pは「BB」としているブラジル国債の格付を引き下げ方向でクレジットウォッチに指定。概ね3か月以内に格下げ、または据え置き結論が出る。また、26日の引け間際にはムーディーズが「Ba2」としている格付のアウトルックをネガティブに引き下げた。
- 今週、引き続き伯中銀は1日あたり4億ドルのドル売りスワップポジションのロールオーバーを継続。また18日に開始した新規のドル売り通貨スワップ入札(18日:40億ドル、19日以降:1日あたり20億ドル)は当初の予定通り23日まで実施された。
- 25日、WTI先物が1バレル51ドル台から48ドル台へ急落した。OPECの総会で主要産油国による減産合意を9ヶ月延長することで合意したが、減産効果の不透明感が指摘される中、減産幅拡大等の新たな対応が見られなかったことが背景。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所: Bloomberg

市場はテメル大統領の進退を巡る動きに注目

今週も引き続き政治の混乱を嫌気してレアルが大きく売られる場面が見られた。テメル大統領は25日、ソーシャルネットワークのビデオを通じて続投の意欲を表明。しかし、連立政権を離脱する政党も見られる中、市場では議会の支持を得て年金改革法案の審議を進展させる上では大統領の速やかな退陣が望ましいとの声が増している。既に後任の候補として複数の名前が挙がっているが、進退に大きく影響を及ぼすと見られる最高裁判所、選挙裁判所の動きが注目される。選挙裁判所は早ければ6月初旬に2014年の大統領選に関する判決を下す可能性があり、レアル相場のボラティリティが高まる動きに注意を要する。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・リアル相場レンジ：3.20－3.35

来週のリアルはテメル大統領辞任の可能性とその後任を巡る思惑、および予想される年金改革進展のスケジュールに左右される展開を見込む。大統領の進退については、選挙裁判所が2014年の大統領選にかかる不正資金疑惑に関する審理を再来週の6月6日に開始するとしているが、新たな悪材料が出てくることで大統領罷免の可能性が急速に高まる動きには注意を要する。また、来週は5月30日、31日の予定でCOPOMが開催される。インフレ率の低下は継続しているが、先週からの政局混乱を受けて金利先物市場が織り込む利下げ幅は▲0.98%（26日時点）まで低下しており、中銀の判断に注目したい。その他、6月1日には今年の第1四半期GDPが発表予定。2014年第4四半期以来の前期比プラス成長が予想されている。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV建設コスト(前月比)	0.07%	0.13%	-0.08%
ブラジル	PPI 製造業(前月比)	--	-0.19%	-0.03%
ブラジル	PPI 製造業(前年比)	--	2.15%	1.66%
ブラジル	基礎的財政収支	9.3b	13.0b	-11.0b
ブラジル	Nominal Budget Balance	-26.3b	-15.4b	-54.3b
ブラジル	純債務対GDP比	48.0%	47.7%	47.8%
米	GDP(年率/前期比)	0.9%	1.2%	0.7%
米	ミシガン大学消費者マインド*	97.5	97.1	97.7

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	5/29	FGVインフレーション(GPM(前年比))	May	1.68%	3.37%
ブラジル	5/31	全国失業率	Apr	13.8%	13.7%
ブラジル	5/31	SELICレート	May 31	10.25%	11.25%
ブラジル	6/1	GDP(前年比)	1Q	-0.3%	-2.5%
ブラジル	6/1	GDP(前期比)	1Q	1.0%	-0.9%
ブラジル	6/1	CNI設備稼働率(季調済)	Apr	--	77.1%
ブラジル	6/1	総輸入	May	\$12900m	\$10717m
ブラジル	6/1	総輸出	May	\$20352m	\$17686m
ブラジル	6/1	自動車販売台数(ブラジル自動車)	May	--	156933
米	6/1	ADP雇用統計	May	180k	177k
米	6/1	新規失業保険申請件数	May 27	239k	234k
ブラジル	6/2	FIPE消費者物価指数(月次)	May	0.02%	0.61%
ブラジル	6/2	鉱工業生産(前月比)	Apr	0.1%	-1.8%
米	6/2	非農業部門雇用者数変化	May	185k	211k
米	6/2	失業率	May	4.4%	4.4%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。